

特別企画：2023 年「ブランドコスメ」価格改定動向調査

「デパコス」4 割が今年値上げ

2000 アイテム超対象、平均価格は 800 円アップ

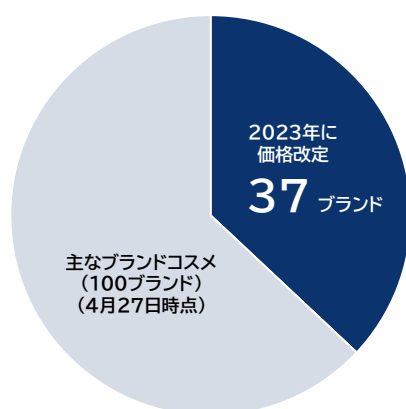
最も値上がりする「フレグランス」、香料価格上昇など影響

「脱マスク」で化粧品需要に回復期待も、節約志向で今後の売れ行きに注目

マスク着用が個人の判断に委ねられた 3 月以降、口紅やチークなどのメイクアップ化粧品の売り上げが上向いている。5 月 8 日に新型コロナが感染症法上「5 類」に引き下げられると、さらなる外出機運の高まりやマスクを外す人の増加につながるとみられ、コロナ前水準には届かないものの化粧品需要の緩やかな回復が期待されている。

こうしたなか、化粧品原料の高騰や各種コストの増加、他国に比べて日本国内での販売価格が割安といった理由が重なり、2022 年以降海外ハイブランドを中心に化粧品の値上げが進んでいる。ただ、昨今の原材料高や原油高を背景とした物価高から、高額化粧品の販売はコロナ前と比べて売れ行きが芳しくないといったケースもきかれる。節約志向など生活防衛意識が広がるなかで、美容分野でも値上げの動きが続くか注目される。

主要「デパコス」ブランド
2023 年の値上げ割合



アイテム別の平均価格推移

	価格推移	価格差
全体	値上げ前 10,335円 ↓ 値上げ後 11,128円	793円 ↑
ケア用品	14,200円 ↓ 15,325円	1,125円 ↑
フレグランス	13,812円 ↓ 14,978円	1,166円 ↑
メイクアップ	5,254円 ↓ 5,578円	324円 ↑

[注] 各社から公表されたアイテム価格を基に帝国データバンク算出

[注] 全国の百貨店に展開する 100 のコスメブランド（国内外）が対象

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「値上げの波」ブランドコスメにも 4 割のデパコスが今年値上げ、アイテム総数は 2000 超

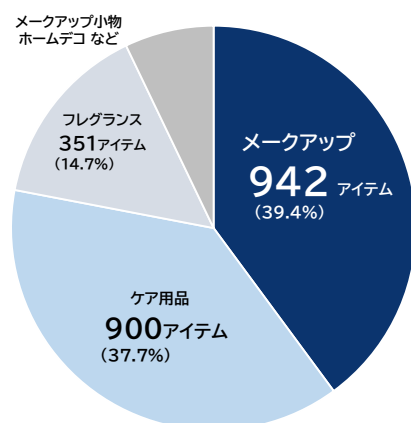
「脱マスク」に向けて需要が高まるコスメ製品にも、値上げの波が押し寄せている。全国の百貨店を中心に展開する、ラグジュアリーカテゴリーを中心とした主なブランドコスメ（デパコス）のアイテム価格を調査した結果、2023 年は 100 ブランド中 4 割にあたる 37 ブランドで 2022 年からの値上げが判明した。総数では 2389 アイテムが判明し、一部ブランドでは前年に続き再値上げに踏み切ったケースもみられた。

値上げ対象となったコスメアイテムのうち、最も多いジャンルはファンデーションやリップなど「メイクアップ」で、全体の 4 割を占める 942 アイテムが判明した。ハンドクリームや UV カットクリームなどのスキンケア用品、各種トリートメント製品といった「ケア用品」でも 900 アイテムに上るほか、オーデパルフラムやコロンなど「フレグランス」も 351 アイテム判明した。

背景には原材料の価格高騰に加え、円安による輸入コストの増加、各種包装資材などの値上がり影響している。価格改定の理由が判明した 31 ブランドのうち、最も多かった要因は「原材料価格の上昇」で 29 ブランドに上り、値上げ理由の 9 割超を占めた。基礎化粧品の基本成分となる化学品で値上げが相次いだほか、原料として使用されるパームオイルやココナッツオイルが、ロシアのウクライナ侵攻を受けた世界的な価格高騰の影響を受けた。フレグランス製品などでは、香料原料などの値上がりも響いた。原油高、輸送ルートの変更などを背景にした「輸送費の上昇」も 11 ブランドが値上げ要因に挙げているほか、労務費の上昇など「生産コストの上昇」も多かった。特に輸入ブランドは、グローバル戦略の一環として他国の価格水準に合わせる「内外価格差の是正等」といった理由も散見された。

この結果、2023 年以降におけるデパコスの平均価格（希望小売価格）は、1 アイテムあたり 1 万 1128 円となり、前年（1 万 335 円）に比べ 7.7%・793 円の上昇となった。ただし、分野別では値上げ幅に差がみられ、原材料高の影響を大きく受けた「フレグランス」は、前年から 8.4%・1166 円上昇した 1 万 4978 円と、平均価格・上昇幅ともに全アイテムで最大だった。一方、最も価格の上昇幅が小さい「メイクアップ」は 6.2%・324 円の上昇、平均価格も 5578 円と低水準にとどまった。

ジャンル別の値上げアイテム数



値上げする要因

